

【OIE 情報】韓国における口蹄疫（0 型）の発生について

韓国における口蹄疫（0 型）の発生について、2015 年 3 月 22 日付けで OIE へ報告（続報 3）がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2015年3月22日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=17400

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：41 件（続報 3）
- ・発生日：2015 年 2 月 8 日～3 月 2 日
- ・OIE への報告日：2015 年 3 月 22 日
- ・血清型：0 型

【発生状況】

- ・発生場所：忠清南道（ちゅうせいなんどう）の農場 24件
京畿道（けいきどう）の農場 8 件
忠清北道（ちゅうせいほくどう）の農場 4 件
江原道（こうげんどう）の農場 4 件
慶尚北道（けいしょうほくどう）の農場 1 件

・合計数

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	112,703	26,667	0	31,256	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・現在、疫学調査を実施中

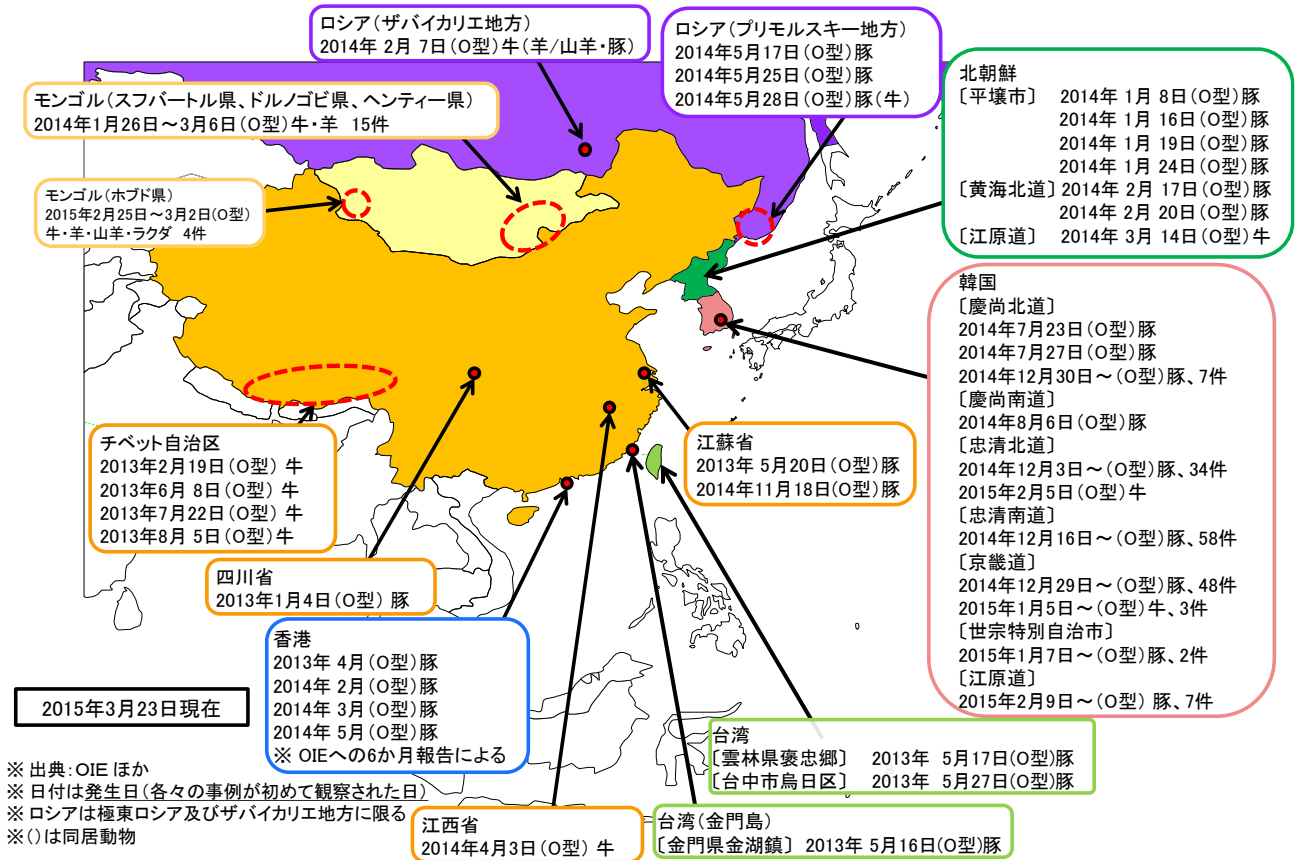
【対応】

- ・野生宿主のコントロール
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・発生に応じたワクチン接種を実施
- ・施設等の消毒実施
- ・部分淘汰
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・診断施設：農林畜産検疫本部（国立研究所）
- ・診断法：ELISA、RT-PCR：陽性（2015年2月9日～3月3日）

【参考情報】中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける
口蹄疫（O型）の発生状況（2013年1月以降の発生）



※発生状況には韓国農林畜産食品部の公表した情報も含まれております。

※2014年7月以降の韓国における口蹄疫の発生情報等は、当省ウェブサイトで公表しています。

・韓国における口蹄疫の発生状況(2014年7月23日～、O型)

(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/korea_fmd_o_2014.pdf)

(参考1) 韓国でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

豚、牛、山羊及び鹿がA、O及びAsia-1型の混合ワクチン接種対象となっている。

(参考2) 中国でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿がO型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

(参考3) ロシア(極東ロシア)でのO型口蹄疫に関する情報

国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、O及びAsia-1型の混合ワクチンを接種している。

(参考4) 香港でのO型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての種豚及び12週齢以上の豚に対し、4か月ごとにO型口蹄疫ワクチン接種を実施。